



5階南病棟

小児病棟

府市共同住吉母子医療センター

○小児病棟は

- 一般病床50床、HCU8床です。
- 0歳から15歳までの子どもが入院しています。
- 看護師は子どもと家族にやさしい看護を提供できるように日々研鑽しています。
- 保育士と一緒に働いています。
- 他に薬剤師、栄養士、療法士、心理士、ソーシャルワーカー、クラークと一緒にチーム医療を提供しています。



○看護の特徴

看護体制

- ・二交代制 準夜5人、深夜4人夜勤です。
- ・日勤は主にPNSを行っており、フライマリー制です。
- ・病棟と外来は一元化しているなので連携がスムーズです。



◎病棟

- ・2018年4月、南館5階に引っ越ししました。
- ・明るく広くて、子どもが少しでも不安を感じないような配色にしています
- ・総室(4人部屋)でも家族1名の付き添いが可能です。
- ・病棟安全のためセキュリティーカードでの出入りを行っています。※現在中止



- ・どの年齢の子どもも楽しめる「わくわくるーむ」(フレイルーム)があります。※2023年6月から再開
- ・絵本やおもちゃの貸し出しもできます。
- ・ここではコンサートや色々なイベントもおこなっています。



○食事

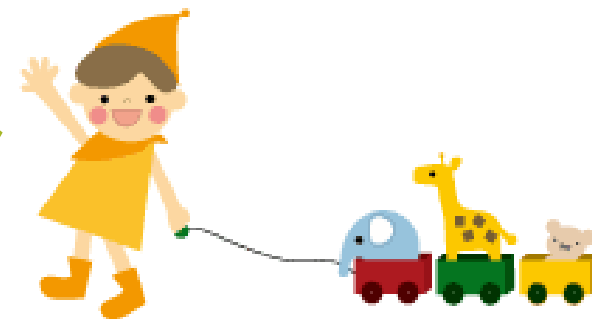


- ・ごはん・うどん・そうめん・パンなどが選択できます。
- ・年齢に応じた離乳食・食事・おやつが提供されます。
- ・赤ちゃんのためのミルクも用意しています。
- ・様々なアレルギー食に対応しています。



○看護師

- ・小児救急看護認定看護師がいます。
- ・教員、保育士、HPSジャパン(ホスピタルプレイスペシャリスト)などダブルライセンスを持ったスタッフがいます。
- ・外来看護師と連携をとり、切れ目のない看護を提供しています。
- ・「子ども患者の権利に関する宣言」をもとに、毎日子どもと家族のためを考えながら看護を行っています。
- ・子どもの病気だけでなく、健やかな育ちにも配慮し家族支援をしています。





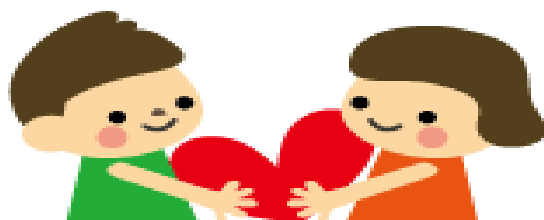
◎保育士

- ・一人で入院している子どもや家族がつきそえない時にもお世話をします。
- ・子どもの年齢に応じた「あそび」を提供しています。
- ・わくわくる一むに來られない子どものために病室でもお世話をしています。
- ・季節ごとの行事を開催します。



フレパレーション

・からだの絵やおもちゃなどを使って、子どものわかるように病気や手術の説明を行います。



◎その他

・院内学級

入院が長期になる場合は、大阪府立羽曳野支援学校と連携し、院内学級への転校ができます。

・ボランティア

クリニックラウン、音楽ボランティア、学生ボランティアが定期的にやってきます。※面会制限中は中止





病棟の教育体制～実習指導～



- 小児の単独病棟として、ほぼ毎月、大阪府下の多くの大学、専門学校の小児看護学実習を受け入れています。
- 小児に特有の内科疾患が多く、手術を受ける外科の患者さんもおられるため、多様な疾患について学ぶことができます。
- 実習担当者は、プリセプターとして新人教育指導を行った経験のあるスタッフが対応しています。
- 実習専任制をとっており、実習期間中は同じスタッフが実習を担当することで、実習生が安心して実習できる環境を整えています。
- 実習生が受け持たせていただく患者さんも期間中は実習担当者が受け持つことで、患者さんにも安心して実習を受けいれていただけるように配慮しています。



病棟の教育体制～新人教育～



- ・小児病棟ではプリセプター制を導入しています。1人の新人看護師に1人の先輩看護師がついて看護技術や日々の業務はもちろん、精神面のサポートもしています。また、プリセプターだけではなく他の先輩看護師も一緒にチームとして新人看護師のサポートをしています。
- ・小児特有の看護技術も多いため、病棟独自のチェックリストを作成しており、小児ナースとして必要な知識や技術を獲得できるように日々一緒に振り返りをおこなっています。
- ・子どもたちやご家族のことを一番に考え、誠実に向き合い、自ら行動できる、そんな看護師に成長できるように日々一緒に頑張っています！

